

大麦管理情報 (第5号)

令和7年3月14日
農業技術課広域普及指導センター

1 気象経過

- (1) 12月：平年に比べ、平均気温は5.2℃（平年差-0.5℃）と低く、降水量は378.5mm（平年比134%）とかなり多く、全天日射量は4.2MJ/m²/日（同84%）とかなり少なかった。
- (2) 1月：平年に比べ、平均気温は3.9℃（平年差+0.9℃）と高く、降水量は301.0mm（平年比116%）と多く、全天日射量6.5MJ/m²/日（同110%）とかなり多かった。
- (3) 2月：平年に比べ、平均気温は2.3℃（平年差-1.1℃）と低く、降水量は201.5mm（平年比117%）と多く、全天日射量は9.1MJ/m²/日（同105%）と多かった。
- (4) 3月上旬：平年に比べ、平均気温は5.4℃（平年差-0.1℃）、降水量は49.0mm（平年比90%）、全天日射量は10.3MJ/m²/日（同100%）といずれも並であった。
- (5) 積雪5cm以上の日数は、3月13日現在で44日と過去10年（36日）に比べ、多くなっている。

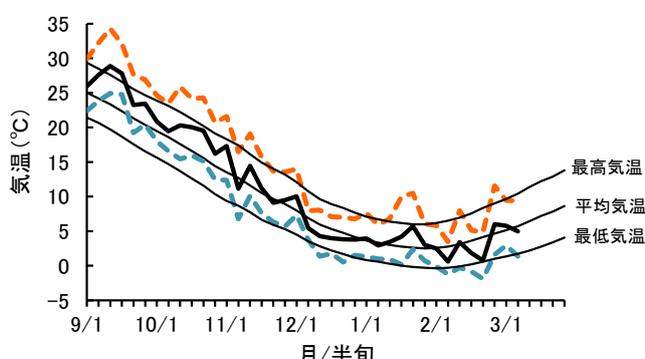


図1 気温の推移 (富山地方気象台)

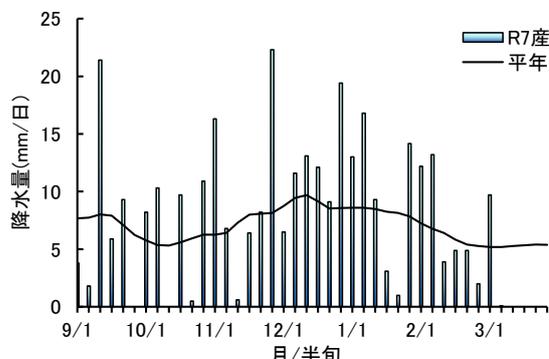


図2 降水量の推移 (富山地方気象台)

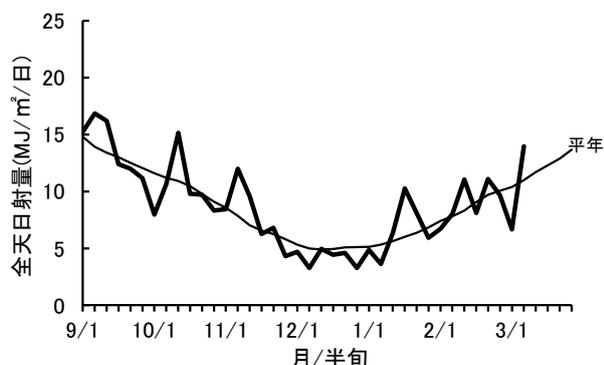


図3 全天日射量の推移 (富山地方気象台)

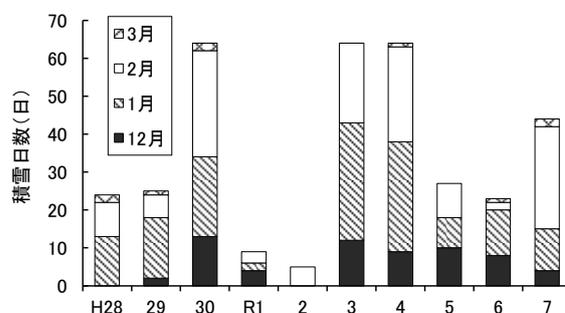


図4 年次別の積雪5cm以上の日数 (富山地方気象台)

注) R7年産は、3月13日現在の日数

2 生育概況

平年に比べ、草丈は並（平年比95%）、茎数は並（同100%）、葉色は淡く（平年差-4.0）なっているが、ほ場によるばらつきがみられる。また、葉齢の展開（平年差±0.0葉）は並、幼穂長（同-0.4cm）は短くなっている。

表1 大麦生育観測ほ等調査結果（3月14日）

	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (cm)	積雪日数 (積雪5cm以上)
		(本/株)	(本/m ²)				
7年産	23.1	4.3	724	10.5	38.1	0.3	44
6年産	24.8	4.2	659	11.4	41.3	0.7	23
平年	24.4	4.1	721	10.5	42.1	0.7	36

注1) R7年産の調査結果は、城端（積雪のため未調査）を除く9ほ場、播種様式はすべてドリル播き

注2) 平年はH27～R6年産の平均

注3) R7年産の積雪日数は、3月13日現在の日数、平年の積雪日数は、過去10年間（H27～R6）の平均

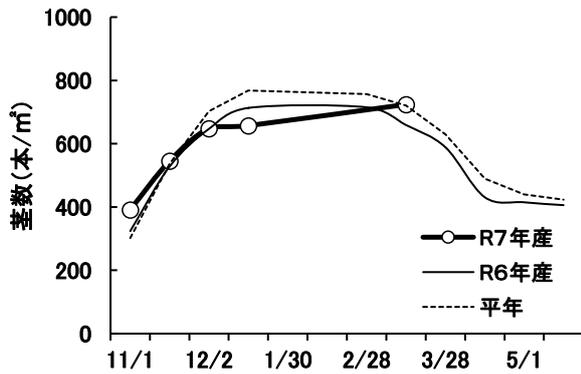


図5 茎数の推移

注) 平年はH27～R6年産の平均

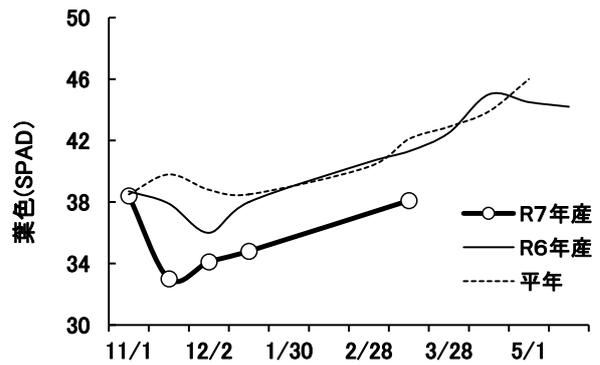


図6 葉色の推移

注) 平年はH27～R6年産の平均

3 当面の技術対策

(1) 排水対策

ほ場の排水状況の点検を行い、ほ場内に水が停滞しないように、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底する。

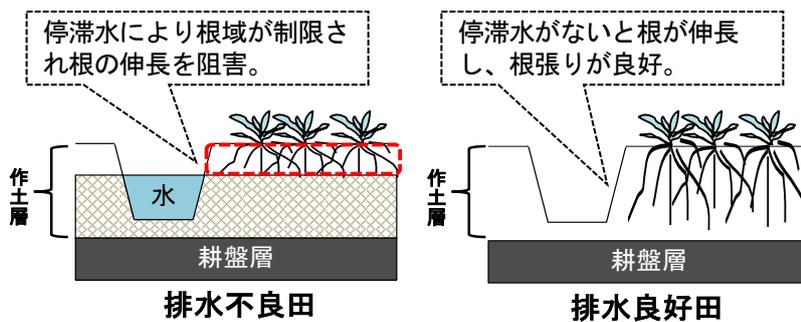


図7 排水の良否と根の伸長のイメージ



写真 排水不良による葉の黄化

(2) 消雪後追肥

ア 肥効調節型基肥栽培

肥料成分の溶出が登熟後半まで続くため、施肥量が基準より少ない等で極端に葉色が淡くなっている場合を除き、追肥は行わない。

イ 分施栽培

- まだ消雪後追肥を施用していないところでは 速やかに追肥を施用する。ただし、生育が旺盛な場合は減肥する(表2)。

表2 分施栽培の消雪後追肥の施肥量の目安

茎数	10a当たり窒素追肥量
少～並	4kg
多	2～3kg

注) 茎数多: m²当たり1,200本以上

- 生育の早いほ場では止葉展開期は4月初旬と予想される。施用時期の遅れや過剰施肥は硝子率を高めるため、出穂前11日頃を目安に遅れずに、生育に応じた施用量を施用する(図8・表3)。

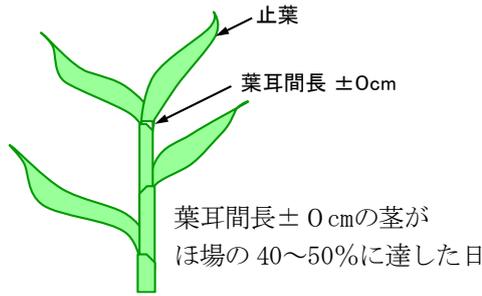


図8 止葉展開期

表3 分施肥栽培の止葉展開期の生育と追肥量の目安

葉色 葉色板	予想穂数 (㎡当たり)	窒素追肥量 (kg/10a)
5未満	500本未満 500本以上	2kg 1~2kg
5以上	500本未満 500本以上	1kg 追肥しない

注) 葉色板の5はSPAD値で「45」

(3) 止葉展開期追肥や防除作業等に向けた準備

- ・今後、気温が平年並で推移した場合、止葉展開期（平年4/5）と出穂期（平年4/16）は平年並と見込まれる。
- ・3月は気温の変動が大きいことから、今後の気象や生育状況をみながら、分施肥の止葉展開期追肥や赤かび病の防除作業（穂揃期とその7日後）が適期に実施できるように準備する。

表4 生育ステージと出穂期予想

年次	止葉展開期	出穂期	積雪日数 (5cm以上日数)
7年産	(4/5)	(4/16)	44
6年産	4/2	4/12	23
4年産	4/10	4/19	64
平年	4/5	4/16	36

注1) 平年はH27~R6年産の平均

注2) R7年産の積雪日数は、3月13日現在の日数
(富山地方気象台)

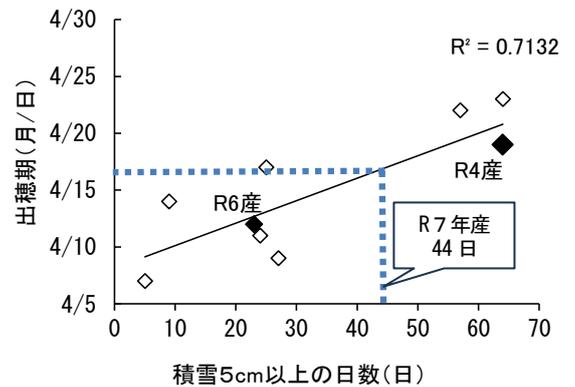


図9 積雪5cm以上の日数と出穂期の関係

注1) 生育観測は H27~R6年産

注2) R7年産の積雪日数は44日（3月13日現在）